

【種類別明細書の記入例】

「記載例ア」資産が減少した例 … 資産番号を○で囲み、資産の名称等から⑧までの項目を二重線で抹消し、⑨の「事由」欄に減少した原因に対応する番号を記入してください。
 「記載例イ」資産が増加した例 … 令和7年9月に中古の応接セット（種類：工具、器具及び備品。耐用年数：8年で、3年経過したもの）を180,000円で購入した場合。
 「記載例ウ」資産が増加した例 … 令和7年2月に太陽光発電設備（種類：機械軸及び装置。耐用年数：17年。課税標準の特例あり）を4,000,000円で購入した場合。

※ 網掛け部分は記入不要です。

令和8年度 償却資産
種類別明細書

氏名
高鍋 太郎
(納税義務者：高鍋 太郎)

PAGE 1

行政区コード	
世帯識別	
所有者コード	
義務者コード	

「記載例ア」
「記載例イ」
「記載例ウ」

① 行番号	② 資産の種類	③ 資産コード	④ 資産の名称等 (名称・形式及び規格)	⑤ 数量	⑥ 取得年月		⑦ 取得価額 (円)	⑧ 耐用年数	⑨ 減価 残存率	⑩ 本年度評価額 (円)	⑪ 課税標準の特例		⑫ 本年度課税標準額 (円)	⑬ 事由	⑭ 摘要
					年号	年月					率	コード			
1	1	00001	事務所内装工事	1	421	11	1,200,000	10	0.794	85,112			85,112		
2	6	00002	パソコン	1	426	4	280,000	4	0.562	14,000			14,000		
3	6	00003	エアコン	1	429	6	700,000	6	0.881	185,702			185,702	12	
4	6		応接セット(中古)	1	507	9	180,000	5						2	
5	2		太陽光発電設備	1	507	2	4,000,000	17			特			1	

↑
種類

1. 構築物	3. 船舶	5. 車両及び運搬具
2. 機械および装置	4. 航空機	6. 工具、器具および備品

年号

1. 明治
2. 大正
3. 昭和
4. 平成
5. 令和

事由

01. 新品取得	02. 中古品取得	03. 移動による受け入れ	04. その他
11. 売却	12. 滅失	13. 移動	14. その他
41. 一部増加	42. その他訂正	51. 価額訂正	

①【資産の種類】 用紙左下にある「種類」の中から該当する番号を記入してください。
 ②【資産コード】 資産が増加したときは、この欄の記入は不要です。
 ③【数量】 その資産の数量を記入してください。〇〇一式の場合には「1」でかまいません。
 ④【取得年月】 取得した年月を記入してください。年には「年号」の中から該当する番号と年を組み合わせる記入してください。
 (例) 「令和6年」なら「506」と記入します。

⑤【取得価額】 当該資産の取得価格を記入してください。
 ⑥【耐用年数】 法人税および所得税における法定耐用年数を記入してください。
 ※中古取得資産の耐用年数
 ★法定耐用年数を経過していないもの
 「法定耐用年数－経過年数×0.8」(ただし1年未満は切捨て)
 ★法定耐用年数を経過しているもの
 「法定耐用年数×0.2」(ただし2年未満は2年)

⑦【課税標準の特例】 課税標準額の特例がある場合には「特」、非課税の資産がある場合は「非」と記入してください。該当する場合には必ず証明書を添付してください。
 ⑨【事由】 資産に異動があったときには、該当する番号を記入してください。